



# 第24回 宮崎「橋の日」イベント写真報告

平成22年度は、宮崎県を襲った口蹄疫の影響で、イベント自粛を余儀なくされましたが、事業の継続性を保つ意味から、8月4日に規模を縮小して実施。今年度は、橋の日の目的のひとつである「橋の日を全国的にPRする活動」や宮崎県との協働事業に取り組むなど、年間を通して活動を実施しました。



日高会長より「橋の日」の目的・趣旨説明



中学生も楽しんでた打ち水



国道220号に架かる橋橋への献花後、全員で橋橋～天満橋を周回するブリッジウォークを実施



2010.08.04

## 「はし遺産」PR推進事業



県内の橋を紹介した「はし遺産」PRポスター

古い橋価値知って  
観光誘致ポスター作製

市内NPO法人  
宮崎NPO法人

県内の橋の建造物としての、県外の関係機関に配布し、周知を図る。

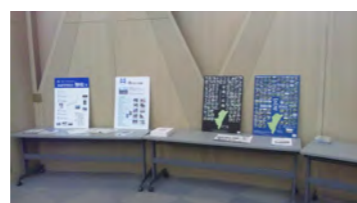
古い建造物を地域振興や観光資源として活用したいという思いで、同実行委と県が協力を。土木学会東京が近代史を。 (報道部・久保真一朗)

本遺産として指定した県内18の橋から、特に歴史的、技術的な価値が高いものを関係者による意見交換会で選んだ。ポスターはB2判でカラー。明治期から昭和初期に建設された、高千穂町の鹿狩戸橋や宮崎市の大旋川橋梁(きょうりゅう)など、10の橋の概要や写真を紹介している。さらに詳しい説明を見ることが出来るQRコードや橋の地図も掲載。本県発祥の記念日として知られる「橋の日」に行われる全国のイベントも載せている。

同実行委の鶴羽浩事務局長は「実際に歩いてみたい」と橋の良さは分らないと思いので、ポスターを見て足を運んでほしい。今後はツアーなども提供したい」と話している。(報道部・久保真一朗)



ポスター製作にあたり、国土交通省宮崎河川国道事務所、宮崎県・建設業協会、設計業協会など10名からなる意見交換会を主催。「はし遺産」を地域資源として活用する為の提言等が出されました。今回の事業では、当会のもつ、ノウハウやデータ、人材を活用しての事業の推進を図りました。



宮崎日日新聞に掲載(2011.4)

## PRグッズの作成



携帯用ホームページ (上記は鹿狩戸橋のページ) 情報ツール「ツイッター」も利用して、「はし遺産」の活用を図ります。



全国向けに「橋の日」幟を新調、「橋の日の歌」もCD化しました。



## 県外へ「橋の日」をPR



橋の日に活動を実施した名橋「日本橋」保存会の皆さん

宮崎「橋の日」実行委員会  
2010.8.4-2011.3.25